

各分団が闘志燃やす



ポンプ車からホースを運ぶ



熟練の放水技術



団員の息を合わせた部隊訓練

第54回金ケ崎町消防競技大会が6月9日に水沢消防署金ケ崎分署駐車場で開催されました。

競技大会にはポンプ車操法の部および小型ポンプ操法の部に各3隊、部隊訓練の部に4隊が出場。各部の選手たちは、競技日前日まで地道な練習を重ね、訓練で培った技術を競い合うとともに、互いの健闘を称えあいました。

競技終了後に審査長を務めた鈴木巧水沢消防署金ケ崎分署長は「各部ともに機敏で的確な動作だったと

思います。安全かつ確実にそして迅速にを常に心がけて、今後のより一層の精進を期待します」と講評しました。

また、第17回岩手県消防協会胆江地区支部消防競技会が7月7日に開催され、町大会で上位成績だった分団及び部が出場しました。ポンプ車操法の部で第1分団第1部が、小型ポンプ操法の部で第3分団第3部がそれぞれ1位を獲得し、7月28日開催の第43回岩手県消防操法競技大会へ進出します。



全力で火元に向かう

競技結果

第54回金ケ崎町消防競技大会

ポンプ車操法の部

- 第1位 第1分団第1部 (街)
- 第2位 第2分団第3部 (永徳寺)
- 第3位 第1分団第2部 (横道・田園パーク)

小型ポンプ操法の部

- 第1位 第3分団第3部 (長志田・千貫石)
- 第2位 第2分団第1部 (百岡)
- 第3位 第2分団第5部 (細野)

部隊訓練の部

- 第1位 第1分団
- 第2位 第4分団
- 第3位 第2分団
- 第4位 第3分団

【敢闘賞】

<p>■ポンプ車操法の部</p> <p>指揮者 橘 幸二 (1-1)</p> <p>1番員 菅原 政憲 (1-1)</p> <p>2番員 佐々木 進 (1-1)</p> <p>3番員 藤巻 真 (2-3)</p> <p>4番員 高橋 辰幸 (2-3)</p>	<p>■小型ポンプ操法の部</p> <p>指揮者 高橋 広要 (2-5)</p> <p>1番員 中家 将介 (3-3)</p> <p>2番員 千葉 勝衡 (3-3)</p> <p>3番員 佐藤 智幸 (2-5)</p>
---	---

第17回岩手県消防協会胆江地区支部消防競技会

ポンプ車操法の部

- 第1位 第1分団第1部 (県大会進出)
- 第2位 第2分団第3部

小型ポンプ操法の部

- 第1位 第3分団第3部 (県大会進出)
- 第2位 第2分団第1部



1



5



6



4



3



2

1 設立30周年記念式典の式辞を述べる高橋寛寿理事長 2 感謝状を受取る前生涯スポーツ事業団理事長高橋由一氏 3 4 銀次氏(右)と葛巻舞香アナウンサー(左)のトークショー 5 6 銀次氏とトヨタ自動車東日本(株)硬式野球部、金ケ崎中学校野球部

金ケ崎町生涯スポーツ事業団 設立30周年

金ケ崎町生涯スポーツ事業団設立30周年記念式典が6月29日に中央生涯教育センターで行われました。同式典では森山総合公園の運営に尽力された個人・団体に感謝状が贈られました。

高橋寛寿(ひろしむね)同事業団理事長は式辞で、「1993年12月に設立以来、スポーツ活動及び指導者の育成支援、イベントの企画、スポーツ活動情報の提供、公園施設管理、教室運営などスポーツに関する様々な事業に携わり、皆様方の温かい御理解と御協力に支えられ本日を迎えることができました。今後とも健康の笑顔が町いっぱいになるようにスポーツの振興に努めていく」と述べました。

開設30周年を迎えた森山総合公園は、県内の総合スポーツ施設の先駆けとして、平成10年に厚生労働大臣から健康増進施設の認定を受け、町民の健康増進と体力

づくり、競技力の向上等に貢献してきました。

6月24日には累計利用者280万人を突破し、平澤光子さん(ひの台)へ記念品が贈呈されています。

30周年記念事業では東北楽天ゴールデンイーグルスアンバサダーの銀次氏とトヨタ自動車東日本(株)硬式野球部を招いて、金ケ崎中学校野球部員の『夢の課外授業』が行われました。授業後には銀次氏から金中生へ「目標を高くもって、プロを目指して頑張ってください」と激励の言葉がありました。

そのほか、銀次氏と葛巻舞香アナウンサーによる銀次氏の競技人生をテーマにしたトークショーも行われました。銀次氏は子どもたちや指導者への助言を聞かれると、「時間の使い方を大事にしてほしい」「その人にあったアドバイスをしてほしい」と答えました。